



# 似内 ひとし にたない和

## 特集

足立区国民保護計画について  
区政レポート var.12

周辺国の動向からみても、安全保障環境は予断を許さない状況であり、国は本年末までに新たな国家安全保障戦略の策定に動いております。そのような状況下、最前線で実際に対応を行う自治体が担うところは極めて重大であります。区は15年前に自ら定めた計画ですらその殆どが履行できておりません。万が一、被害の局限化には平素からの備えが重要であり、緩慢な進捗を見過ごすことは出来ません。

## 足立区国民保護計画について

区民の生命・身体の保護に関わる 足立区が自ら策定し、ほったらかしの計画

外部からの武力攻撃やテロなどが万が一発生した場合に、**迅速・的確に区民の生命、身体及び財産を保護するために備えや体制づくり、対処、復旧等を定めた計画**です。

策定され既に**15年間経ちましたが、定めたその殆どが履行されず、Jアラートの発信試験にとどまっています。**

さらには、対応方法の周知すらされておらず、**実質無意をなしていないJアラートの発信訓練を平成24年から年4回、毎年行っています。**

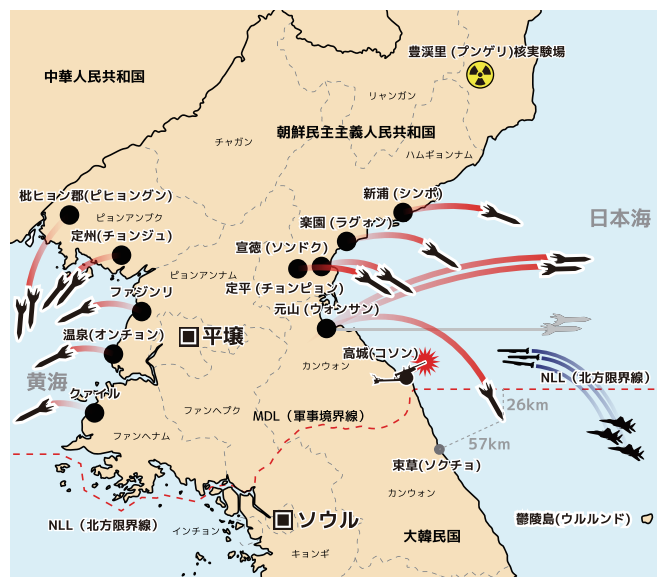


170ページにも及ぶ立派な計画・・・

## 最近の動向 参考まで 10月31日～11月3日のミサイル発射について

11月5日レポート作成時点 - 見え透いた米国の思惑や北朝鮮の対応、挑発合戦の果に向かうべきではないと切に祈る -

北朝鮮は日米韓による各種訓練等の動きに対応し、これまでにない頻度でミサイル発射等を繰り返しており、今後延長が決定された米韓合同空中訓練に応じて、ミサイル発射等の行為が引き続き行われる可能性も高い状況です。度重なる発射によるミサイル保有数の急減も指摘されており、核実験やその他の行為に発展する可能性もあります。



10月31日

米韓合同空中訓練「**ヴィジラント・ストーム**」開始  
北朝鮮外務省報道官談話 **※米韓演習等を非難**

11月2日

朴正天党中央委書記談話 **※米韓演習等を非難**

06:51 **黄海上に短距離弾道ミサイル4発を発射**

08:51 **日本海上に短距離弾道ミサイル3発を発射**

(韓国側は、北朝鮮がNLL以南に弾道ミサイルを発射するのは初と発表)

09:12～ **黄海・日本海上に短距離弾道ミサイルや地対空ミサイルなど約10発を発射**

11:10 **韓国空軍の戦闘機がNLL以北の公海上に空対地ミサイル3発を発射**

13:27 **日本海上のNLL以北海上の緩衝区域内に約100発の砲兵射撃を実施**

16時台 **黄海・日本海上に地対空ミサイルなど6発を発射**

11月3日

米韓軍、米韓合同空中訓練「**ヴィジラント・ストーム**」の**訓練期間延長を発表**

朴正天党中央委書記談話 **※米韓演習の延長を非難**

21時台 **短距離弾道ミサイル3発を発射**

# 決算委員会での質問

載せきれないため、最後の部分だけ、 令和3年度決算委員会 令和4年10月11日審査 速報版議事録より抜粋

・令和4年6月の定例会では、組織・体制の整備や周辺自治体や事業者との連携・協力体制の整備、訓練・啓発等々の進捗について質問したが、計画の殆どが履行されておらず、やっているのはJアラートの発信試験

・6月の定例会に引き続き、今回の決算委員会(10月4日)でも緩慢な進捗への疑問を行った

・強く指摘を行うと共に、今後も進捗が緩慢であれば粘り強く指摘を行っていく

## 令和4年10月11日 【決算委員会質問】

○にたない和委員 今現在の国民保護計画というのはテロを基本的には前提としてつくられていて、2001年の9.11を受けて、2003年の事態対応法から2004年の国民保護計画になり、2007年に足立区国民保護計画ができてきたという流れがある中で、昨今の事情に合わせた内容にしていくべきであって、この足立国民保護計画でも武力攻撃事態に対してはまだまだ足りてない部分がたくさんあります。そこに対しては先日の答弁で、「これから国とか都とまずは連携する、情報交換する、要望することから始めさせていただきたいと考えております」と答弁いただきました。そのとおり進めていただければと思います。また、内容の改定については時間が掛かるにしても、すぐに取り組めることもあります。これを読んでみると、例えば、第2編平素からの備えというのはできるものも結構あるんです。是非ともこの中から、できるものをしっかりとやっていただきたい。特に、「平素からの備え」の国民保護措置に関する啓発というところにおいて見れば、Jアラートによって、弾道ミサイル落下時の行動について、平素から周知に努め、広報紙、パンフレット、テレビ、インターネット等の様々な媒体を活用して啓発を進めていくというのがありますから、是非ここは国とか東京都関係なく、足立区でも進められるところですから、是非ともすぐにでも取り組んでいただきたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○災害対策課長 にたない委員おっしゃるとおり、やはりミサイル攻撃ですとか、まだまだ区民の方が知らない現状があると思います。まず、知っていただくことから始めることは大事と思っておりますので、Jアラートの訓練などは年4回やっておりますので、そのときにAメールなどとも連携はしてございますが、どのように広めていくかということは検討していきたいと考えております。

※今更「検討」という答弁で、通常の質問では進捗を期待できないため、質問を止め指摘へ変更

○にたない和委員 是非とも検討ではなくて、もう2007年から始まっていますから、すぐにもスタートしていただければと思います。正直、これについて以前から質問させていただきましたけど、答弁の意味が分からないんです。何で分からないかというと、2007年に計画が策定されて、**もう15年**なんです。

訓練については毎年、今の答弁もありますが、年4回、平成24年からJアラートの全国一斉情報伝達訓練に留まるという答弁ありましたけれども、だったら年4回で、平成24年からやっているんだったら、Jアラートか鳴ったときに、**区民の方から、「どうしたらいいか分からない、どう対応したらいいか分からない」なんていう声が寄せられること自体を恥と思わなければいけないものなんじゃないか**と思ってしまうんです。

今回のJアラートにおいては、通勤時間にちょうど直撃したものですから、千代田区は鳴ってしまったんです。東京都の中、どこで起きても通知が鳴るようになっていましたから。どういったことが起きたかということ、地下鉄の駅舎にいた方も







大勢いたんですけれども、Jアラートが鳴った瞬間、地上に出て、大丈夫かな、大丈夫かなと見ていたという状態なんです。これは報道ベースなので、これから国の検証というものは入ってくれると思うので、みていただければと思うんですけれども、基本的に平素から備えがなければ、実際問題、的確な対応を各事業者が取れるはずもなく、各個人もなかなか取ることというのはいけません。適切な対応ができなければ、仮に一時避難施設が周知できたとしても、結局のところ、つい最近、海外でもありましたけれども、サッカースタジアムで催涙弾を警察が発射して、大勢の方が圧死してしまったという出来事がありましたけれども、それと同じようなことが今後つくばエクスプレスであるとか、北千住駅等の地下施設で起きてしまうと。単純に啓発するだけでは駄目で、実際問題どういったことが想定されるのかというのをしっかりと詰めていかなければならないという段階です。足立区国民保護計画で定められていることというのは、やるべきことというのたくさんあります。その中でも、見直しを行わなければならない、例えば武力攻撃災害事態に対する対応というのは非常に薄いもので、まだまだ内容もないものですから、そういったものもありますけれども、時間が掛かってしまうものもあれば、今すぐ取りかかることができる内容もあるんです。これは2007年からずっと、改正は令和2年にありましたけれども、今すぐ取りかかれることも取組がされてないことについて、言葉は悪いんですけれども、平和ぼけし過ぎていると、非常に感じるわけなんです。国民とか区民が平和ぼけしているといわれることあるんですけれども、私は別にそれがプロパガンダの影響であっても、どんな影響であろうとも、平和ぼけしていて全然構わないと。

むしろ安心していただいているからこそ、そういった平和ぼけという状態になるのではないと思うんです。だがしかし、我々とか行政というのは絶対に平和ぼけなんてしてはいけないと思うんです。「誰よりも、臆病でなければならぬ」と考えるわけです。しかし、今すぐにも取組ができること、周知であったりと、もう15年間あったわけですから、幾らでもできたはずですよ。Jアラートが鳴ったらこうしてくださいということは。そういったこともしてないとなると、**区民より危機意識が低いと感じざるを得ない。**災害のときでも、自助・共助・公助とあって、自助・共助の方をどうかお願いします。皆さんで助け合ってください。自分の身は自分で守ってくださいと、**公助に頼らないでくださいと言っていますけれども、我々が一番公助に頼ってないかと非常に強く思うわけなんです。**消極的な理由というのも、先日お伺いさせていただきましたけれども、理由になってなくて、一般企業で働いていて長いので、皆さんの文化とか慣例というのが分からないんですけれども、仮に15年間の進捗がこのような感じであった場合、業務怠慢と言われちゃいます。なおかつ、仮に進められない理由があったとしても、15年間指示待ち人間になってしまえば、通常だったらクビになってしまうと。ましてや、それが指摘されたのなら、早急に何か取り組みいただきたいところではあるんですけれども、正直今さら「ほかの自治体の研究」なんていうことというのは、口が裂けても正直言えないなど、私だったらと。正直、皆さんの答えがよく分からないというところに陥ってしまうんですけれども、私が言っていることというのは、足立区だけではなくて、ほかの自治体でも言えることで、足立区だけが突出して悪いということではないんですけれども、押しなべて危機感が足りない。特別区も東京都も平和ぼけし過ぎていると非常に思っております。主体性を持って、決算でもありましたけれども、「あだちから」と、すてきな言葉を使っているから、「足立から」の姿勢で取り組んでいただきたいと強く強く要望いたしまして、私からの質問を終わらせていただきます。

# もしも、Jアラートが流れたら

全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用して被害を局限化

急速にミサイル技術が進化する中、極超音速ミサイル等ではJアラートから着弾まで間もなく、**緊急地震速報と同様に出来ることは限られています。**  
「落ち着いて、直ちに行動する」ことが被害を最小限にするために重要です。

## ①速やかな避難行動

## ②正確かつ迅速な情報収集

情報収集  
はこちら



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai

行政からの指示に従って、**落ち着いて行動してください。**

内閣官房

「国民保護ポータルサイト」

事前に確認しておくことをおすすめします。

<https://www.kokuminhogo.go.jp/>



メッセージが流れたら

## 落ち着いて、直ちに行動してください

屋外にいる場合

### 近くの建物の中か地下に避難する。

※できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

近くに適切な建物がない場合

### 物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭部を守る。

屋内にいる場合

### 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

地下鉄や地下施設にいる場合

### 外の様子を見に行かない。

近くに  
ミサイル  
落下!

屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内または風上へ移動する。

屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして屋内を密閉する。